

2019年度（9/1～10/14）13名 国際研修参加者紹介

カンボジア	<p>メン・リー（メン） プレアビヒア州保健局 子どもの栄養改善に向けて、州・郡や保健センターの職員能力向上、村の女性・子ども委員会等多分野連携を進めている。</p> 	ミャンマー	<p>チョーチョー・ウィン（チョー） ピギキン（ピィ町の女性たち） 自助グループを通して、HIV/エイズや結核の予防活動、在宅ケア、法的支援に取り組んでいる。</p> 
カンボジア	<p>チャン・レイ（チャン） 国際開発救援財団 カンボジア事務所 栄養改善のため州・郡の保健課職員の能力育成とともに、母親グループづくりを行っている。</p> 	パキスタン	<p>ザヒール・アッバース（ザヒール） 調査・政策提言・社会変革研修協会 炭鉱で働く子ども等の権利擁護や教育・保健活動、演劇を通じた若者育成を行っている。</p> 
インド	<p>モヌジ・ドゥッタ（モヌジ） 健康・平和・開発のためのスルジュムキ茶農園で働く女性の自助グループを育成し、収入向上活動や、栄養改善・保健啓発のために有機菜園づくりを進めている。</p> 	スリランカ	<p>モハメッド・ラヒーム・バダディーン（ラヒーム） ベレンディナ開発サービス 茶農園労働者、農村部の女性や高齢者のグループ作りを行い、行政の保健・福祉サービス向上を目指している。</p> 
インド	<p>チャヤ・パチャウリ（チャヤ） プラヤス（「たゆまぬ努力」の意） 少数民族の人たち自身が村の保健政策を立案・モニターできるように支援し、政策提言活動も行う。</p> 	スリランカ	<p>ルワン・ポツピティヤゲ（ルワン） 地域の声連合 子ども、女性、障害児、高齢者を支援し、子どもの栄養保健活動、母親ボランティアの育成を担当している。</p> 
インド	<p>サバリオラジミ・ジョセフスタリン（ジョセフスタリン） 農村開発協会 少数民族を対象に、女性グループとその連合体を組織して、行政サービスの向上や権利要求を支援している。</p> 	タイ	<p>オラディー・ワカオラム（オン） ヤソトン県禁酒市民グループ 禁酒・禁煙に関する条例づくりや意識向上活動を進めている全国組織の地域ボランティアのリーダー。</p> 
ミャンマー	<p>カウン・タウン（コーン） ミャンマーキリスト教協議会 HIV/エイズ事業とUHC（すべての人が保健サービスを負担可能な費用で受けられること）に取り組んでいる。</p> 	タイ	<p>カニタ・セーイウ（アー） タイ保健委員会事務局 タイ保健省が進める「科学的根拠に基づく多分野連携による保健政策づくり」により、協働事業を進めている。</p> 
			<p>タサニー・ヤナ（タサニー） 地域保健調査開発協会 高齢者の保健課題解決に取り組んでいる。住民による政策提言や活動が科学的根拠に基づくよう支援する。</p> 

